

海外渡航時は食べ物・水にご注意を！ 腸チフス

令和 6 年 12 月 11 日
富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和 6 年第 49 週分・12 月 2 日～12 月 8 日)

《 インフォメーション 》

●腸チフス

先週（第 48 週）、富山県内で 8 年ぶりに腸チフスが 3 例報告されました。腸チフスは衛生水準の高くない発展途上国で蔓延しています。特に南アジア、東南アジアでの罹患率が高く、中南米、アフリカでも発生しています。一方、先進国においては多くが流行地域への渡航者による輸入事例となっています。日本では、新型コロナウイルス感染症流行に伴う水際対策が行われる前の 2019 年以前は、年間 30 例程度で推移していました。70～90%は輸入事例ですが、残りは国内感染例です（図）。近年は国内感染例の割合も 10～30%程度に認められています。2014 年、2016 年には、国内の飲食店を原因とする腸チフス食中毒の発生が報告されています（<https://www.niid.go.jp/niid/ja/typhi-m/typhi-iasrd/5886-kj4261.html>）。

腸チフスは、チフス菌（*Salmonella* serovar Typhi）によって起こる感染症で、感染症法上では 3 類感染症に位置付けられています。チフス菌で汚染された食品や飲料水を摂取することで感染します。通常、7～14 日の潜伏期間を経て、徐々に発症します。発熱が主症状で、39～40 度に達します。また、徐脈、バラ疹、肝脾腫、下痢、便秘などの症状が認められます。重症例では合併症として腸出血や腸穿孔を起こすこともあります。治療にはニューキノロン系抗菌薬が用いられていましたが、近年はニューキノロン系非感受性のチフス菌が約 60%と高い頻度で分離されています。特に南アジア由来のチフス菌では 95%以上でニューキノロン系非感受性菌が分離されており、南アジアからの帰国者には第三世代セファロスポリン系抗菌薬等が用いられています。

以下のことに気を付けて、感染予防に努めましょう。

- 海外渡航先では、生水・氷・カットフルーツの入ったものを食べることは避けましょう。
- 食事は十分に火の通ったものを食べましょう。
- 帰国後に体調不良を感じた場合は、早めに医療機関を受診し、渡航歴を伝えましょう。
- 調理の際、食事の際、トイレの後は石けんと流水で手を洗いましょう。

《 全数報告の感染症 》

二類感染症 結核 2 件（①第 48 週診断分：70 歳代、女性 ②80 歳代、男性）
五類感染症 後天性免疫不全症候群（HIV 感染症を含む） 1 件（40 歳代、女性）
侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 件（80 歳代、女性）
梅毒 1 件（40 歳代、男性、早期顕症梅毒 I 期）

《 定点報告の感染症 》

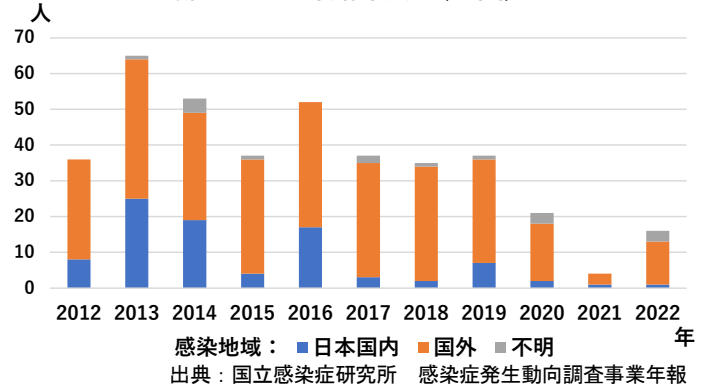
今週の富山県内上位 6 疾患

順位	疾病名	定点あたりの数	
		今週（増減）	先週
1 位	感染性胃腸炎	6.59（↑）	5.07
2 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.03（↑）	3.41
3 位	マイコプラズマ肺炎	3.20（↑）	0.60
4 位	インフルエンザ	2.92（↑）	1.21
5 位	COVID-19	1.63（↑）	1.13
6 位	手足口病	1.00（↓）	1.62

富山県感染症情報センター URL: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/>



腸チフス患者報告数（全国）



○感染症発生動向調査報告状況（令和6年第49週 令和6年12月2日～令和6年12月8日）

分類	疾患	今週報告分（第49週）					累積報告数（令和6年第1週（1月1日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核		1				1	11	6	33	12	47	109
	（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く		1				1	7	5	15	8	28	63
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症								2	9	4	8	23
	腸チフス									3			3
四類感染症	E型肝炎											2	2
	つつが虫病							1					1
	ポツリヌス症											4	4
	レジオネラ症							3	2	13	5	21	44
五類感染症	アメーバ赤痢											3	3
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症							2		8		14	24
	急性脳炎									1	1	1	3
	クロイツフェルト・ヤコブ病											1	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							2		4	1	13	20
	後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）					1	1				2	3	5
	ジアルジア症											1	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症					1	1			3	1	8	12
	侵襲性髄膜炎菌感染症											1	1
	侵襲性肺炎球菌感染症							3		2		4	9
	水痘（入院例）							1	1	1			3
	梅毒				1			3		10	8	22	43
	播種性クリプトコックス症											1	1
	破傷風									2			2
	百日咳											1	1
	インフルエンザ／COVID-19定点（48定点）	インフルエンザ	14	11	52	6	57	140	1,117	1,056	4,196	1,576	5,197
COVID-19		2.00	2.20	4.00	0.86	3.56	2.92	2,509	1,267	4,022	2,240	3,315	13,353
小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	12	8	20	15	23	78	82	71	632	72	491	1,348
	咽頭結膜熱	1.71	1.60	1.54	2.14	1.44	1.63						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			6		2	8	133	266	711	40	721	1,871
	感染性胃腸炎	0.50	0.67	0.25	0.25	0.50	0.41	215	189	3,322	331	1,637	5,694
	水痘	0.25	0.33	6.75	1.50	5.50	4.03	1,036	746	1,656	693	4,205	8,336
	手足口病	3.50	4.33	4.75		12.60	6.59	3	19	124	15	89	250
	伝染性紅斑			2		2	0.07	284	914	3,689	678	3,878	9,443
	突発性発しん	1	4	11		13	29	1	30	8	2	16	57
	ヘルパンギーナ	0.25	1.33	1.38		1.30	1.00						
	流行性耳下腺炎		4			4	0.14	11	21	142	39	130	343
				0.25	0.25		0.10	90	46	111	95	256	598
						2	2	4	1	7	3	18	33
						0.20	0.07						
	眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎										3	
流行性角結膜炎		2		3		1	6	13	2	44	5	13	77
基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎	2.00		1.50		0.50	0.86					1	1
	無菌性髄膜炎									1	3		4
	マイコプラズマ肺炎	4		9	3	16	6	17	74	34	19	150	
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	4.00		9.00	3.00	3.20				1			1
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※1）		1	1	1	2	5	1	12	4	2	3	22
	COVID-19による入院患者	4	1	1	2	3	11	228	184	212	247	605	1,476

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和6年第36週（9月2日）～の集計です。

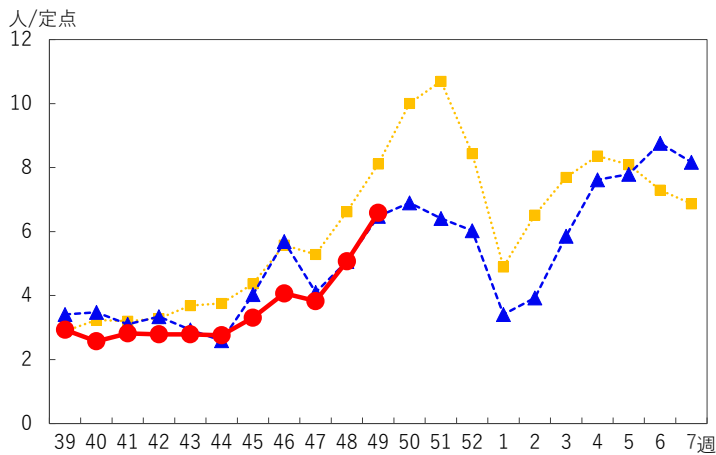
今週の富山県内上位6疾患（定点把握）

2024（令和6）年 第49週（12月2日（月）～12月8日（日））

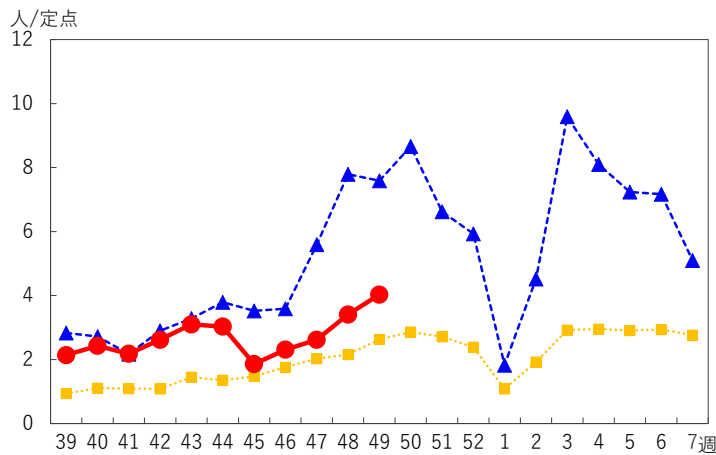
12月11日時点速報値

● 現在 ▲ 前年 ■ 過去10年平均

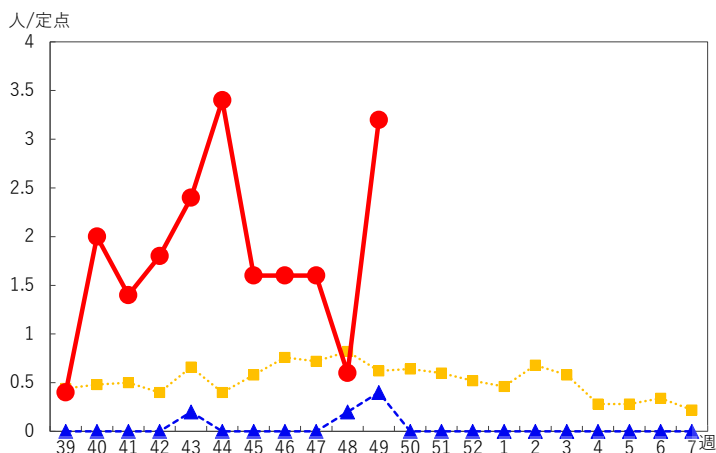
感染性胃腸炎



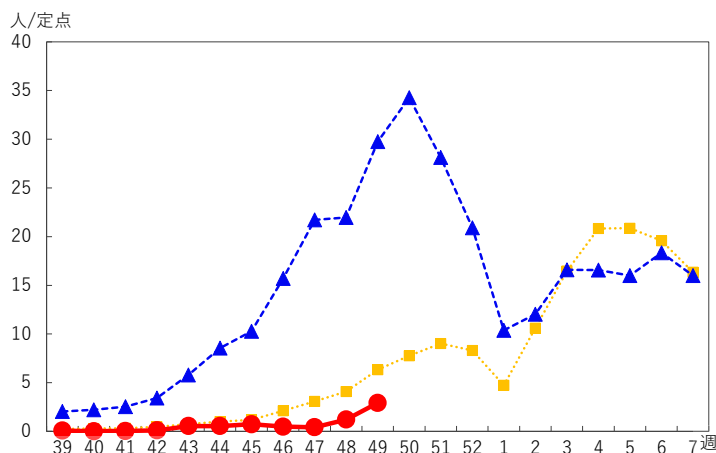
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



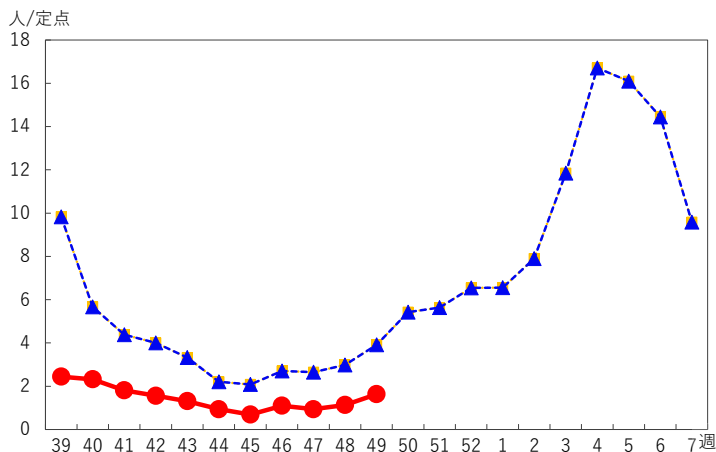
マイコプラズマ肺炎



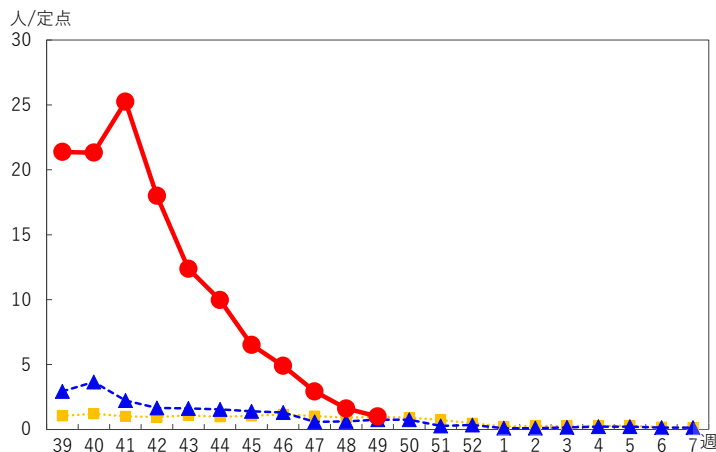
インフルエンザ



COVID-19



手足口病



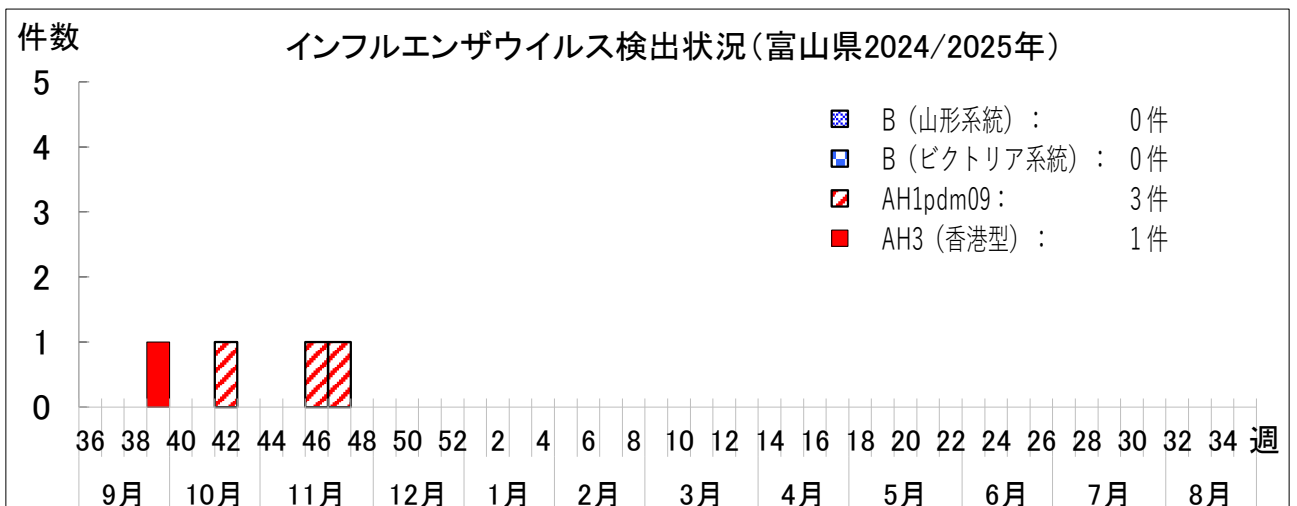
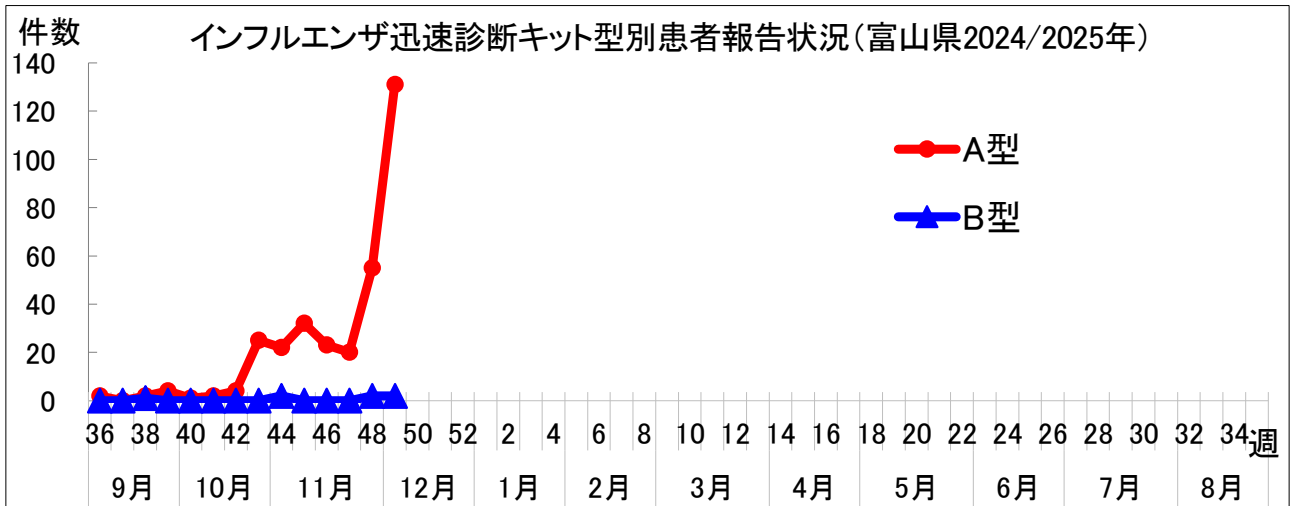
インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。
 現在、下の表によると、A型が93.6%となっています。

第49週(12/2～12/8)：富山県 2.92人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	5 / 7	14	0	0	14
中部	4 / 5	10	0	1	11
高岡	11 / 13	49	0	3	52
砺波	4 / 7	3	0	3	6
富山市	13 / 16	55	2	0	57
富山県	37 / 48 ^{※1}	131	2	7	140
富山県累計(2024年36週～)		323	7	15	345

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が37か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





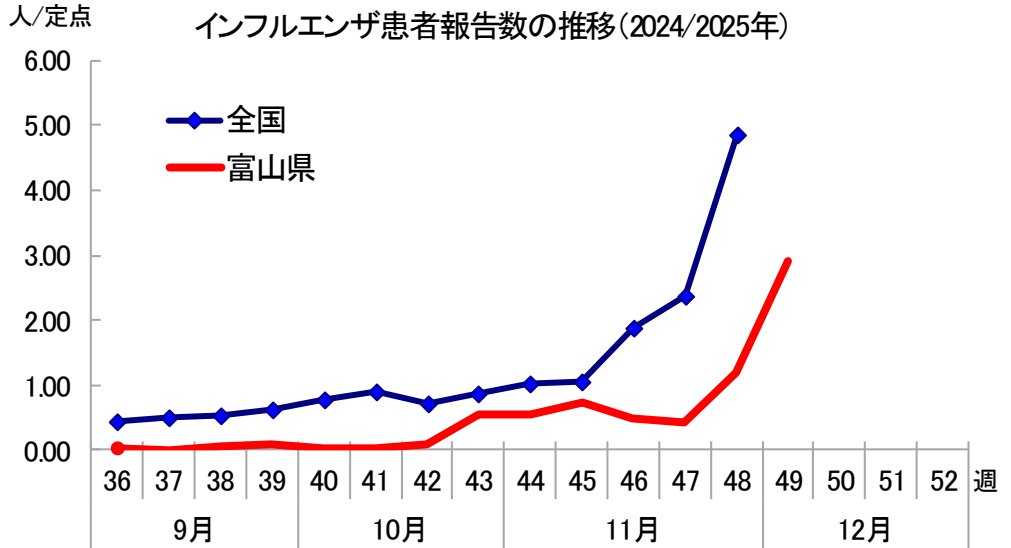
● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第49週 (12/2~12/8) : 富山県 2.92人/定点

新川 HC (2.00)、中部 HC (2.20)、高岡 HC (4.00)、砺波 HC (0.86)、富山市 HC (3.56)

全国の患者報告数は、第48週に4.86人/定点となり、前週より顕著に増加しています。

県内の患者報告数は第49週に2.92人/定点となり、全国と同様に急増しています。

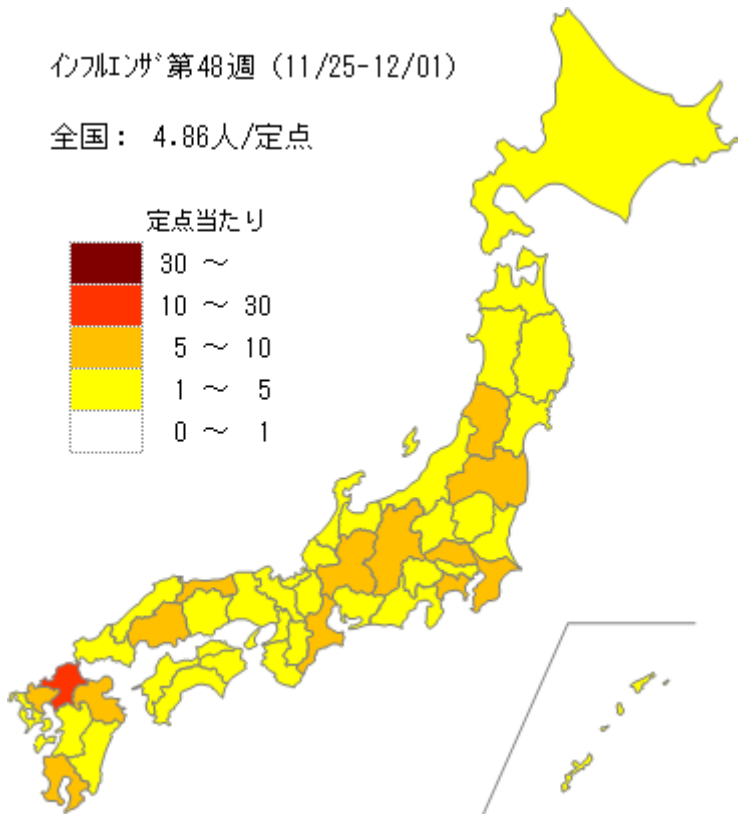


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第48週 (11/25~12/1)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり4.86人となり、前週の2.37人より増加しました。46都道府県で前週より増加しています。

インフル第48週 (11/25-12/01)

全国：4.86人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	4.00 ↑	滋賀県	4.18 ↑
青森県	1.98 ↑	京都府	3.99 ↑
岩手県	4.78 ↑	大阪府	4.91 ↑
宮城県	4.15 ↑	兵庫県	4.22 ↑
秋田県	3.39 ↑	奈良県	2.72 ↑
山形県	6.79 ↑	和歌山県	3.17 ↑
福島県	6.39 ↑	鳥取県	6.45 ↑
茨城県	2.83 ↑	島根県	3.63 ↑
栃木県	3.24 ↑	岡山県	3.92 ↑
群馬県	3.44 ↑	広島県	7.01 ↑
埼玉県	5.52 ↑	山口県	3.75 ↑
千葉県	8.18 ↑	徳島県	2.27 ↑
東京都	4.32 ↑	香川県	2.47 ↑
神奈川県	5.49 ↑	愛媛県	4.75 ↑
新潟県	3.16 ↑	高知県	2.36 ↑
富山県	1.21 ↑	福岡県	11.43 ↑
石川県	1.71 ↑	佐賀県	5.74 ↑
福井県	4.26 ↑	長崎県	3.64 ↑
山梨県	2.10 ↑	熊本県	2.95 ↑
長野県	9.07 ↑	大分県	6.91 ↑
岐阜県	5.54 ↑	宮崎県	4.31 ↑
静岡県	2.26 ↑	鹿児島県	5.03 ↑
愛知県	4.66 ↑	沖縄県	3.61 ↓
三重県	5.92 ↑	全国	4.86 ↑